

市長メッセージ

東日本大震災により、被災されました皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。本市におきましては、幸いにして震災による人的な被害はありませんでしたが、住宅や公共施設、道路などに大きな被害を受けました。

加えて、東京電力福島第一原子力発電所の放射性物質漏えい事故は、市民生活



高松 義行 市長



や産業活動などに大きな影響を及ぼしております。

市といたしましては、災害の復旧・復興を最優先としながら、東京電力福島第一原子力発電所にかかる迅速な情報公開と一日も早い事態の収束に向け、県及び国に対し強く要望を行っております。

環境放射能の推移状況や農作物の補償問題、風評被害など、まだまだ不安を払拭できる状況にはありませんが、市民の皆様のご生活と安全を守るため、全力で取り組みまいりますので、共にこの難局を乗り越えていただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



【写真右列】(上) 関下地区や青田地区では下水道マンホールが隆起。(中) しらさわカルチャーセンターの天井が崩落。(下) 青田地区、新池の堤体が決壊し水があふれ出た。

【写真左列】(上) 白沢保育所の園庭法面が崩落。(下) 石神市営住宅の西側側道法面が完全に崩落。



▲災害対策本部長として陣頭指揮をとる高松市長(中央奥)

東日本大震災

地震発生から

1カ月半余り：市内の様子は

3月11日午後2時46分、宮城県牡鹿半島の東南東130キロメートル、深さ24キロメートル付近で発生したマグニチュード9・0の巨大地震。本宮市役所で震度5強、白沢総合支所で震度6弱を記録し、約3分間にわたり揺れ続けました。この強い揺れにより屋根瓦が崩れ落ちたり、壁にヒビが入ったりと住宅や道路などの公共施設にも甚大な被害が発生しました。



荒井字北ノ内地内のJR東北本線の跨線橋の前後の道路は、強い揺れで路面が完全に崩壊



市内19カ所に設置された避難所には一時1200人余りが避難。地震直後から停電となり、電話も通じない状況となったため、家族や友人・知人の安否を確認することができないまま、不安な夜を過ごしました。しかし、これだけの地震にもかかわらず、負傷された方がいなかったのは、不幸中の幸いでした。

その後、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故が発生。また、食料品をはじめ日用品の入手が困難となり、ガソリン・灯油などの燃料の販売が完全にストップし、生活物資不足が市民生活を直撃しました。

地震から1カ月半余り経過しましたが、市内のいたる所には地震の爪あとが残っています。

【下】避難所に避難された方たち[3/12、本宮小体育館]

